

宿根カスミノウ (花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	うどんこ病	灰色かび病	アブラムシ類	ハモグリバエ類	ヨトウムシ	シロイチモジヨトウ	ハダニ類
硫黄粉剤50	M2		-	-	◎						
フルピカFL	9		*a	5	◎	◎					
ピリカット乳	39		*a	6	◎						
			*b			◎					
コロマイト乳	6		-	2							◎
スミチオン乳	1B		-	6				◎			
アディオンFL	3A		-	6			◎		◎		
スカウトFL	3A	劇	-	5			◎		◎		
テルスターFL	3A	劇	-	3						◎	
トレボンEW	3A		-	6						◎	
トレボン乳	3A		-	6					◎	◎	
マブリック水20	3A	劇	*b	2							◎
アタブロン乳	15		*b	5						◎	
カスケード乳	15		*a	3						◎	

*a:発病初期

*b:発生初期

宿根カスミソウ(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
うどんこ病	生育期	<p>・発病前から発病初期に次の薬剤のいずれかを散布する。</p> <p>トリフミン水和剤●* 3000倍 ピリカット乳剤 1000～2000倍 フルピカフロアブル 2000倍 ポリオキシシンAL水溶剤* 2500倍 モレスタン水和剤*△ 2000～3000倍</p>	<p>●耐性菌を生じやすいので連用しない。</p> <p>*花き類・観葉植物での登録 △モレスタンは薬害に注意する。</p>
アブラムシ類	生育初期 ・生育期	<p>・発生が認められたら次の薬剤のいずれかを散布する。</p> <p>アディオフロアブル 1500倍 スカウトフロアブル 2000～3000倍 モスピラン顆粒水溶剤* 2000～4000倍</p>	<p>*花き類・観葉植物での登録</p>
シロイチモジヨトウ	生育初期 ・生育期	<p>1. 施設の側面および妻面に防虫ネットを張り、成虫の侵入を防ぐ。 2. 発生が認められたら次の薬剤のいずれかを散布する。</p> <p>アタプロン乳剤 2000倍 カスケード乳剤 4000倍 トレボン乳剤 1000倍 ロムダンフロアブル* 1000倍</p>	<p>*花き類・観葉植物での登録</p>
ナスハモグリバエ	生育初期 ・生育期	<p>・発生が認められたら次の薬剤を散布する。</p> <p>スミチオン乳剤# 1000倍</p>	<p>#ハモグリバエ類での登録</p>
ハダニ類	生育初期 ・生育期	<p>・発生が認められたら次の薬剤のいずれかを散布する。</p> <p>コロマイト乳剤 1000～1500倍 ダニトロンフロアブル* 1000～2000倍 ピラニカEW* 2000倍 マブリック水和剤20 2000倍</p>	<p>*花き類・観葉植物での登録</p>
その他の病害虫		ハコベハナバエ、ツメクサガ	